

テ ィ ー エ ス テ ィ ー ミ ッ プ ス
イ ン ス ト ー ル ・ ガ イ ド

Ver. 2006: 72

For **FLEX_{lm}**[™]
フローディング・ライセンス

www.opengis.co.jp



この説明書は、**TNTmips** フローティングライセンスのサーバ設定と、クライアント設定についてのテクニカル・ガイドです。御不明な点につきましては、同梱の英文リリース・ノート、あるいは弊社 (**TEL: 03-3623-2851**) までお問い合わせ下さい。

作業全体の流れ

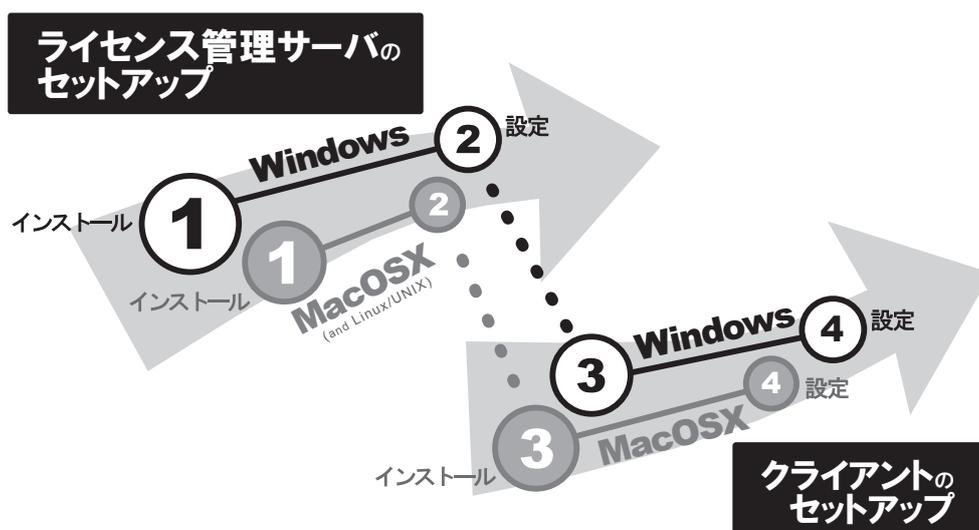
作業はサーバ側とクライアント側でそれぞれ行います。

また、**Windows** か、それ以外の **OS** かでも作業が異なります。

サーバとクライアントは、必ずしも **OS** を統一する必要はありませんので、サーバが **Windows**、クライアントは **MacOSX** のように自由に組み合わせてください。

これから行う作業は次の4つです。

- ①サーバ側のインストール → ②サーバ側の設定
- ③クライアント側のインストール → ④クライアント側の設定



さあ、次のページへすすみましょう...

① ライセンス管理ソフトのインストール

for Windows 

TNTmips のフローティング・ライセンスを管理するソフト『LMTOOLS』をサーバマシン (Windows2000, XP, 2003) へインストールする作業をご紹介します。MacOSX や Linux/UNIX をライセンス管理サーバにする場合は、14 ページのインストール作業をご覧ください。

a. キーの挿し込み！



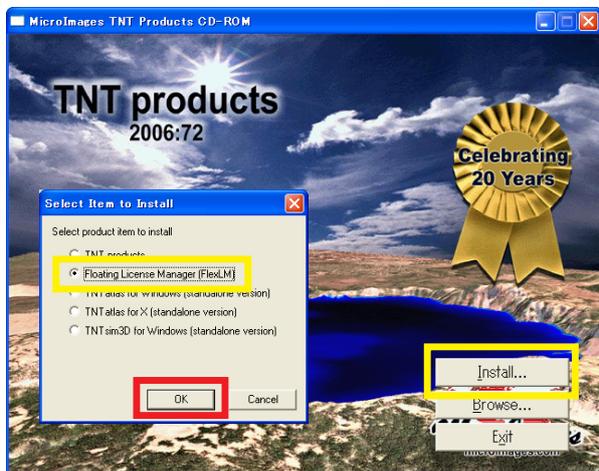
ライセンスキー (dongle) をサーバに挿し込んで下さい。通常は、写真のような USB タイプの HASP キーになります。そして、ライセンスキーを挿し込むと立ち上がる「新しいハードウェアの検索ウィザード」を実行して下さい。もしもこのウィザードが2回立ち上がった場合、2回目はキャンセルして下さい。

b. CD-ROM のセット

インストールCD-ROMをマシンにセットします。自動的に下のようなインストーラが起動しますが、もし起動しない場合は、CD-ROMドライブのアイコンをダブルクリックして、インストールを実行して下さい。

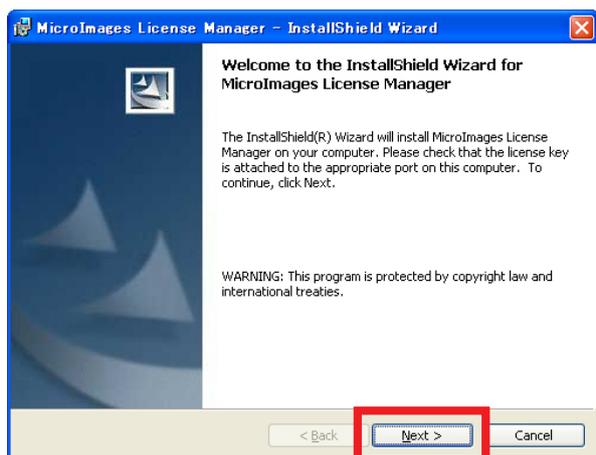


Floating License Manager (FlexLM) のインストール



▼インストーラのタイトルが現れましたら、**[Install...]** ボタンを押します。

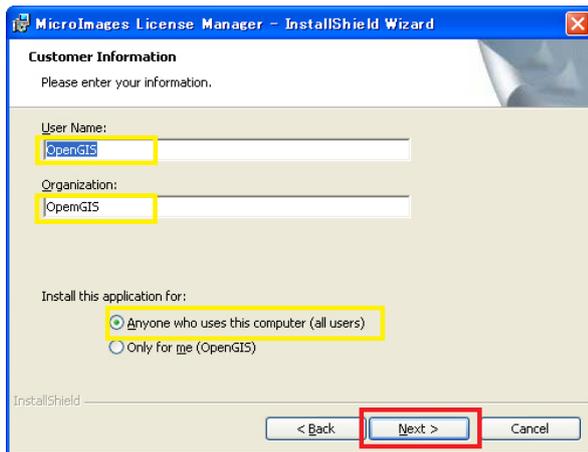
▼< **Select Item to Install** >ウィンドウが現れましたら、さらに「**Floating License Manager (FlexLM)**」を選択して **[OK]** ボタンをクリックします。



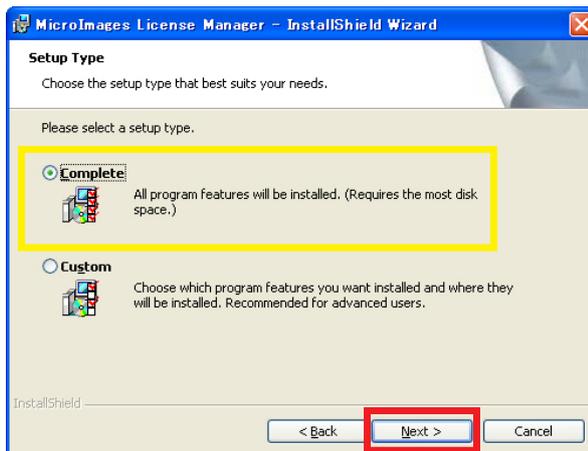
▼“**Welcome...**” ウィンドウが現れますので、**[Next]** ボタンをクリックします。



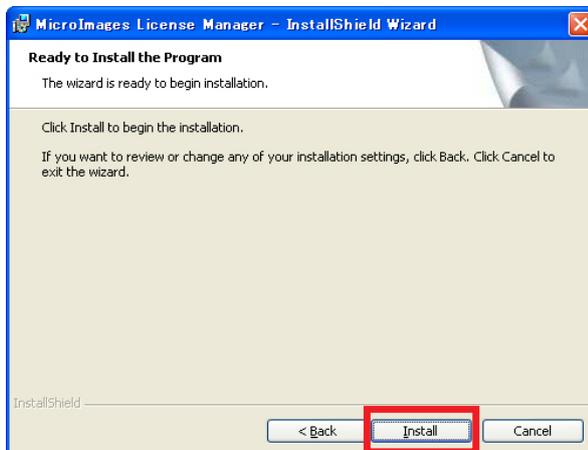
▼“**License Agreement**” では、左下の「**I Accept the...**」にチェックボックスをオンにし、**[Next]** ボタンをクリックします。



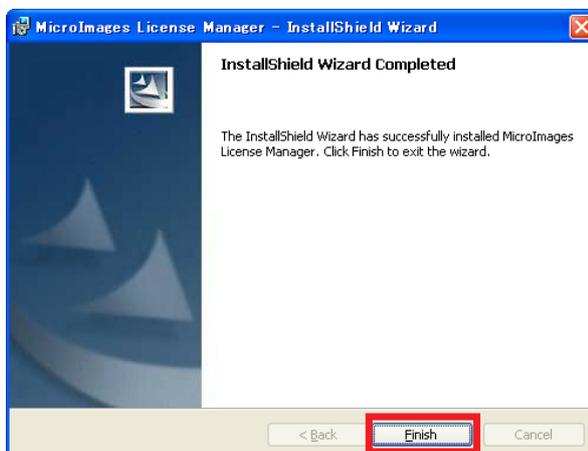
▼ “Customer Information”にて、サーバー管理者の登録を行います。ユーザー名 (User Name) と組織名 (Organization)、それに、ソフトの使用権限を決めましたら、[Next] ボタンをクリックします。



▼ “Setup Type”では、とくに理由がない限り、「Complete」を選択して、[Next] ボタンをクリックしましょう。



▼ “Ready to Install the Program” まで来ましたら、[Install] ボタンをクリックしてください。



▼ インストールが完了しましたら、[Finish] ボタンをクリックして終了です。

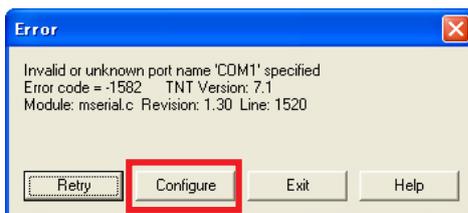
② ライセンス管理サーバの設定

for Windows 

インストールしたライセンス管理ソフトの設定を行い、ライセンス管理プロセスを開始します。

a. キーの認識

▼「スタート」>「すべてのプログラム」>「MicroImages」>「License Manager Configuration」を実行します。



▼<Error>ウィンドウが現れますが、[Configure] ボタンをクリックしてください。



▼ライセンスを「HASP」に切り替えて [OK] を押しましょう。もし、ドライバがインストールされていない場合は自動的にドライバのインストーラが起動しますので、別刷りの【インストールガイド for Windows】をお読みください。

b. LMTOOLS の設定



▼ “Do you want to...” とメッセージが現れましたら、[いいえ (N)] をクリックします。

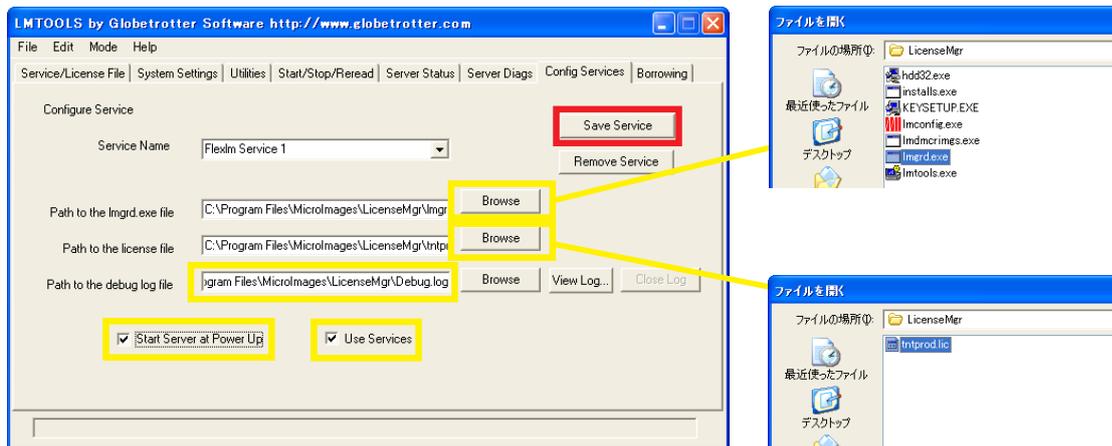


▼ 『LMTOOLS』が立ち上がりまので、[Config Services] タブパネルへ移動しましょう。



▼ Service Name 欄を、「FLEXIm Service 1」に切り替えます。もし、切り替えられない場合は、枠内に直接「FLEXIm Service 1」と入力してください。

▼あとは、[Browse] ボタンをクリックし、対応するプログラムやファイルの指定を行います。次に、“Use Service” と “Start Server at Power Up” チェックを入れて [Save Service] ボタンを押します。



Path to the lmgrd.exe file → 「C:\Program Files\MicroImages\LicenseMgr\lmgrd.exe」を選択。

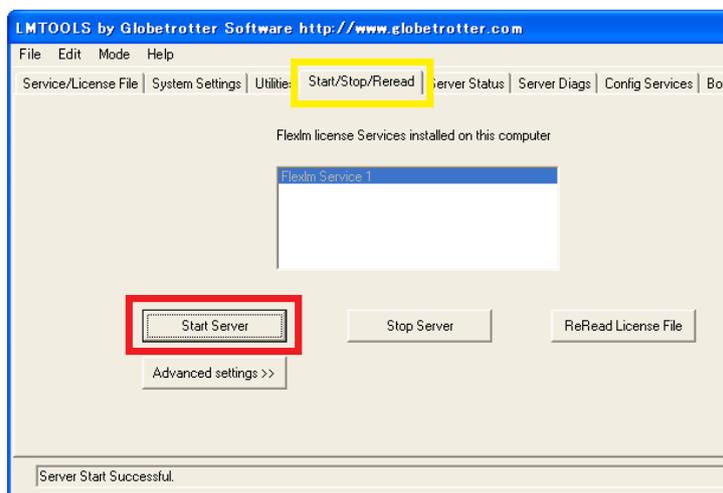
Path to the license file → 「C:\Program Files\MicroImages\LicenseMgr\tntprod.lic」を選択。

Path to the debug log file → 「C:\Program Files\MicroImages\LicenseMgr\Debug.log」という新規ファイル名を入力。



▼ “Would you like to save...” というメッセージが現れますので、[はい (Y)] をクリックして、設定を保存します。

管理プロセスの開始



▼ 『LMTOOLS』 の [Start/Stop/Reread] タブパネルへ移動します。

▼ [Start Server] ボタンを押すと、ライセンス管理プロセスが開始されます。



▼最後に、『LMTOOLS』のメニューより [File] > [Exit] で『LMTOOLS』を終了します。

以上で、サーバー側の設定は終了です。続いて、クライアント側の設定を行いましょう。

③ クライアント用ソフトのインストール

for Windows 

実際に TNTmips を起動するクライアント側の設定を行います。まずは、インストール CD-ROM をセットして、シングルライセンスと同様に TNTmips をインストールします (Windows98, Me, 2000, XP, 2003)。クライアントとして、MacOSX マシンを使用される場合は、17 ページのインストール作業をご覧ください。

a. CD-ROM のセット

▼インストール CD-ROM をセットして、クライアント側に、シングルライセンスと同様 TNTmips をインストールします。

b. 別刷インストールガイドを読む

▼詳しいインストール方法は、別刷りの【インストールガイド for Windows】をご覧ください。

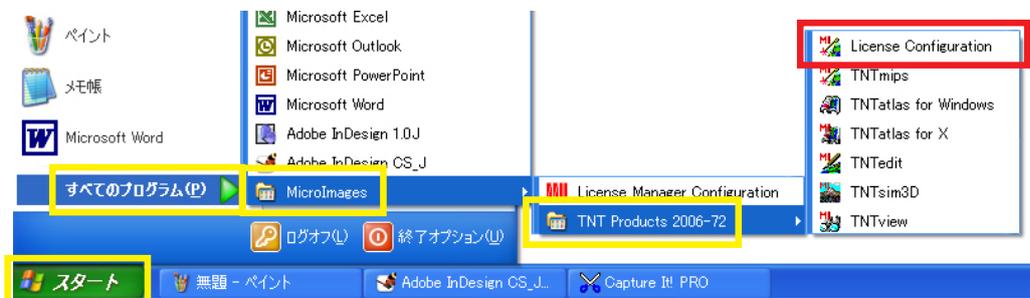
4 クライアントの設定

for Windows 

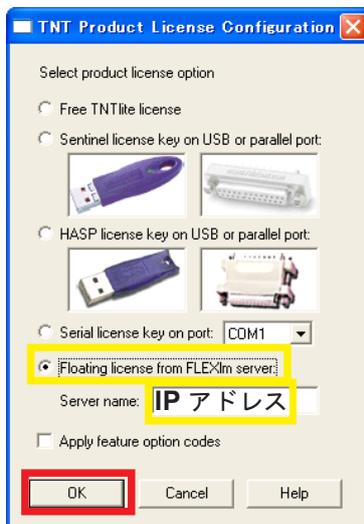
TNTmips がインストールできましたら、ライセンス設定 (License Configuration) ウィンドウを表示して、ライセンスサーバの情報を入力します。フローティング・ライセンスに切り替えたあとは、TNTmips をいつものように起動してください。もしうまくいかないようでしたら、弊社 (info@opengis.co.jp) までお気軽にお問い合わせください。

a. License Configuration の起動

▼「スタート」>「すべてのプログラム」>「MicroImages」>「TNT Products2006-72」>「License Configuration」を実行します。



b. License Configuration の設定変更



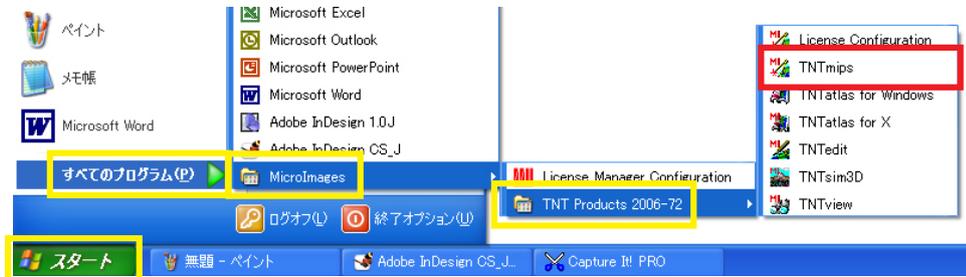
▼ License Option を「Floating license from FLEXlm server:」に切り替えて、ライセンスサーバの IP アドレスを入力します。

▼入力できましたら、[OK] ボタンをクリックしましょう。

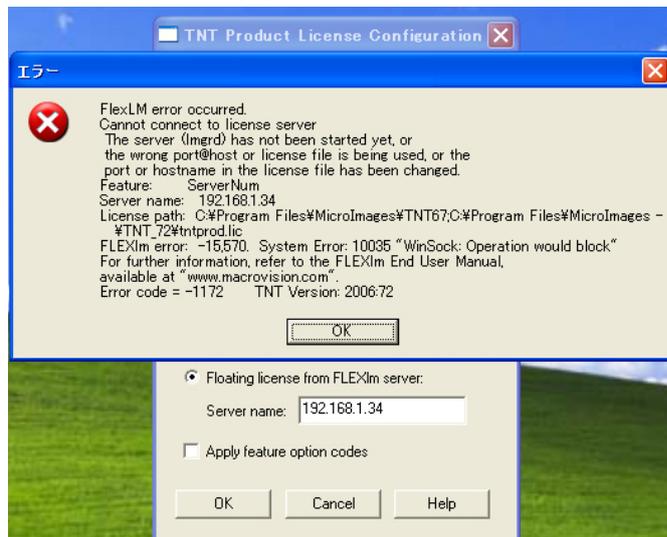
この操作でエラーがでた場合、11 ページをお読みください。

TNTmips の起動

▼「スタート」>「すべてのプログラム」>「MicroImages」>「TNT Products 2006-72」を選択し、TNTmips を実行します。これで、フローティングライセンスとして TNTmips が起動します。



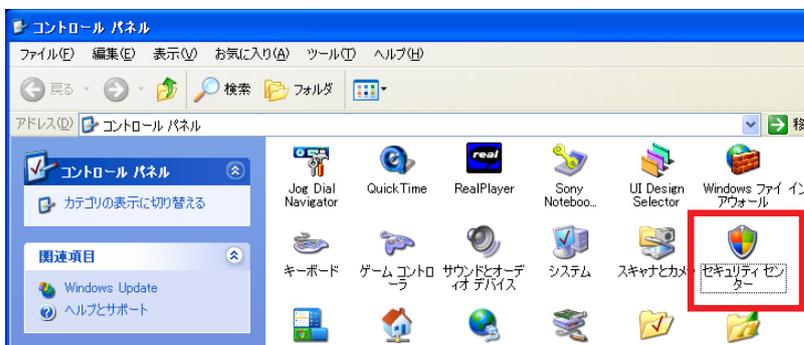
Windows マシンをライセンスサーバに使用した場合、＜ License Configuration ＞ ウィンドウで次のようなエラーが出る場合があります。このエラーは、サーバ側のファイアウォールが原因かもしれません。



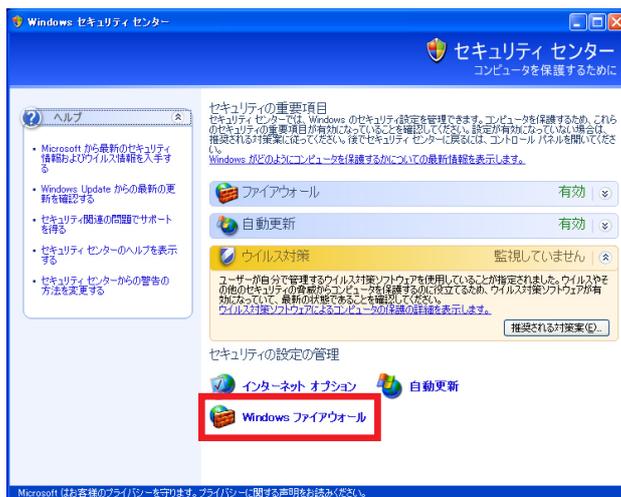
マイクロイメージ社の報告によると、マイクロソフトが 2006 年 5 月にリリースしたパッチによって Windows のファイアウォールの挙動が変わり、クライアント側からの FlexLM のライセンス要求の信号がファイアウォールによってブロックされることがあるようです。

対処法

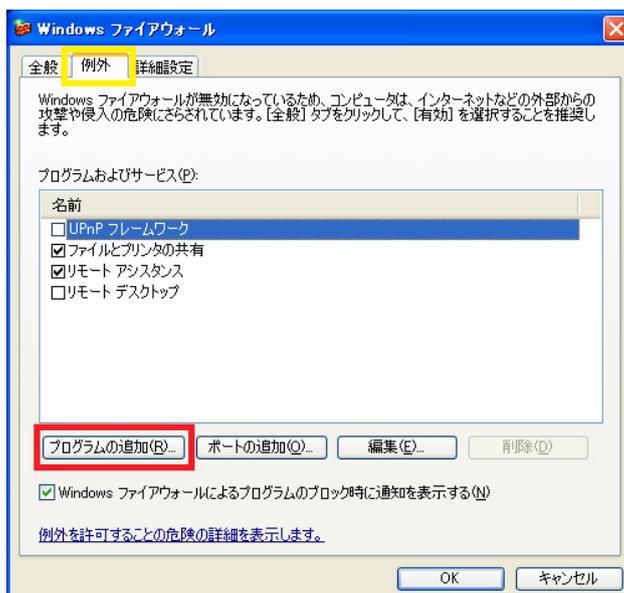
a: スタートからコントロールパネルを開き、「セキュリティセンター」をダブルクリックします。



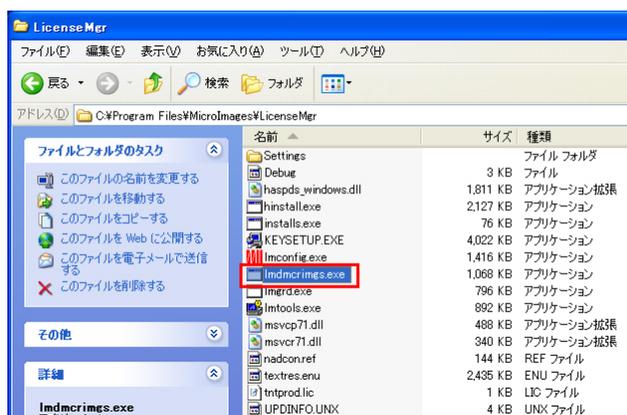
b: < Windows セキュリティセンター > ウィンドウが開きます。一番下の [Windows ファイアウォール] をクリックします。



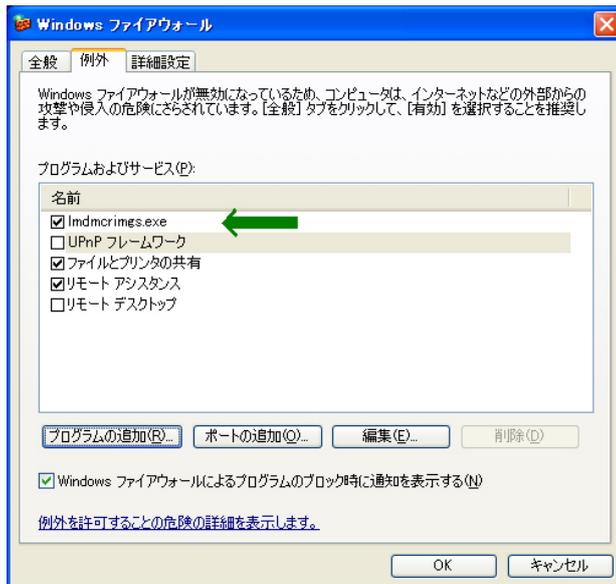
c: < Windows ファイアウォール > ウィンドウが表示されます。[例外] タブパネルへ移動し、[プログラムの追加 (R)...] ボタンを押します。



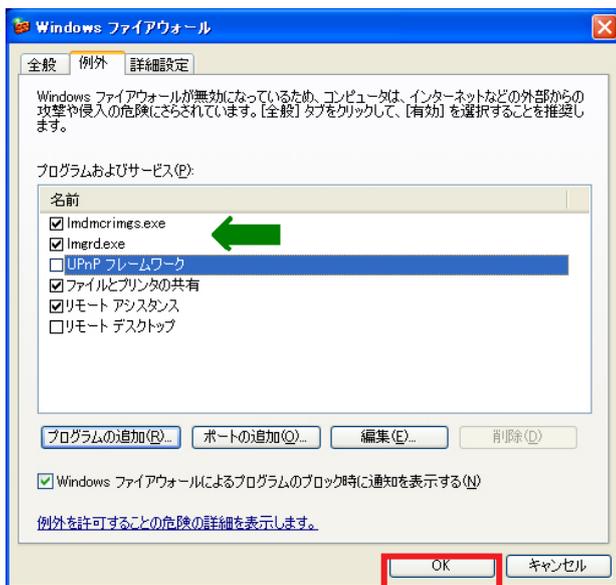
d: [参照] ボタンを使って、C:/Program Files/LicenseMgr フォルダにある lmdmcrimg.exe ファイルを選択します。



選択後の< Windows ファイアウォール>ウィンドウです。Imdmcrings.exe が例外処理のプログラムおよびサービスとして追加されました。



e: 同様に、C:/Program Files/LicenseMgr フォルダにある Imgrd.exe ファイルを選択します。選択後の< Windows ファイアウォール>ウィンドウです。[OK] ボタンを押して、< Windows ファイアウォール>ウィンドウを閉じます。



以上で、ファイアウォールの設定変更が完了しました。マイクロソフト以外のセキュリティソフトをご使用で、フローティングライセンスが起動できない場合は、そちらの方のファイアウォールがエラーの原因と考えられます。その場合は、そのソフトに応じた例外設定をすることによりエラーしてください。

1

ライセンス管理ソフトのインストール

for MacOSX 

TNTmips のフローティング・ライセンスを管理するためのソフト『Imgrd』をサーバマシン (MacOSX, Linux, UNIX に対応) にインストールする作業をご紹介します。

Windows マシンをライセンス管理サーバにしたい方は、2 ページのインストール作業をご覧ください。

a. キーの挿し込み！

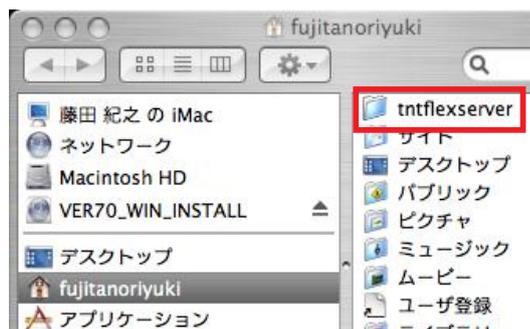


▼ライセンスキー(dongle)をサーバに挿し込んで下さい。通常は、写真のようなUSBタイプのHASPキーになります。

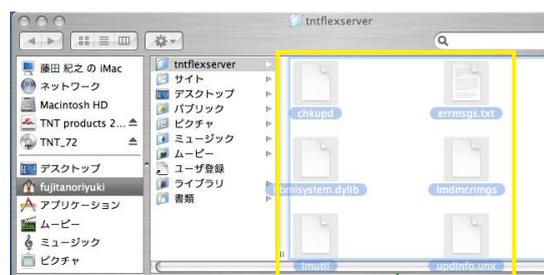
b. DVD のセット

▼インストール DVD をマシンにセットします。自動的にデスクトップ上にマウントされますので、アイコンをダブルクリックして中身を開き、FLEXIm License Server フォルダを開きましょう。

c. ファイルのコピー



▼自分のホームディレクトリに、インストール用フォルダを作成します。名前は、「tntflexserver」としてください。



▼あとは、作成しました tntflexserver フォルダの中へ、FLEXIm License Server 内のすべてのファイルをコピーしてください。これで、管理ソフトのインストールは完了です。



2 ライセンス管理サーバの設定

for MacOSX

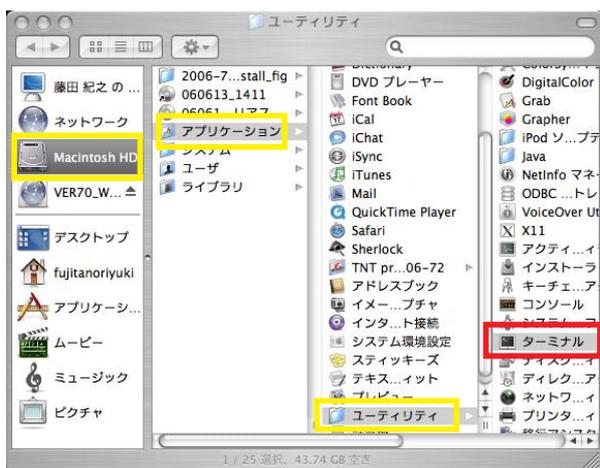


インストールしました『Imgrd』の設定を行い、ライセンス管理プロセスを開始します。この作業が終わりますと、サーバ側での設定は終了です。あとは、クライアント側の設定を行うのみです。

a. キーの認識

▼もし、**HASP** キーが認識されていない場合は、別刷りの【**TNTmips** インストールガイド for Mac OS X】をお読みいただき、**HASP** ドライバをインストールしてください。

b. ターミナルの起動



▼「**Macintosh HD**」>「**アプリケーション**」>「**ユーティリティ**」フォルダ内の「**ターミナル**」を実行します。

c. 管理プロセスの開始

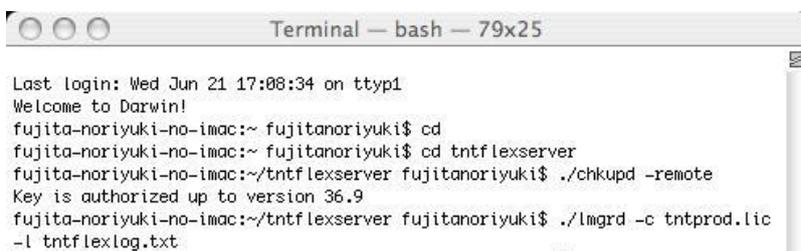
▼次のコマンドを入力すると、管理プロセスが開始されます。

```
cd [return]
```

```
cd tntflexserver [return]
```

```
./chkupd -remote [return]
```

```
./Imgrd -c tntprod.lic -l tntflexlog.txt [return]
```



3

クライアント用ソフトのインストール

for MacOSX 

実際に **TNTmips** を起動するクライアント側の設定を行います。まずは、インストール **DVD** をセットして、シングルライセンスと同様に **TNTmips** をインストールします。クライアントとして、**Windows** マシンを使用される場合は、**9** ページのインストール作業をご覧ください。

a. DVD のセット

▼インストール **DVD** をセットして、クライアント側にシングルライセンスと同様 **TNTmips** をインストールします。

b. 別刷インストールガイドを読む

▼詳しいインストール方法は、別刷りの【インストールガイド for MacOSX】をご覧ください。

4

クライアントの設定

for MacOSX 

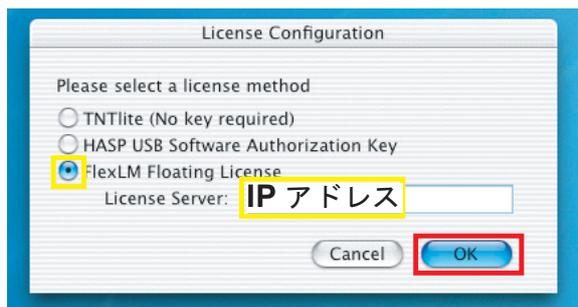
TNTmips がインストールできましたら、ライセンス設定 (License Configuration) ウィンドウを表示して、ライセンスサーバの情報を入力します。フローティング・ライセンスに切り替えたあとは、TNTmips をいつものように起動してください。もしうまくいかないようでしたら、弊社 (info@opengis.co.jp) までお気軽にお問い合わせください。

a. License Configuration の起動



▼ 「Macintosh HD」 > 「アプリケーション」 > 「TNTproduct 2006-72」 > 「Change License Configuration」 を実行します。

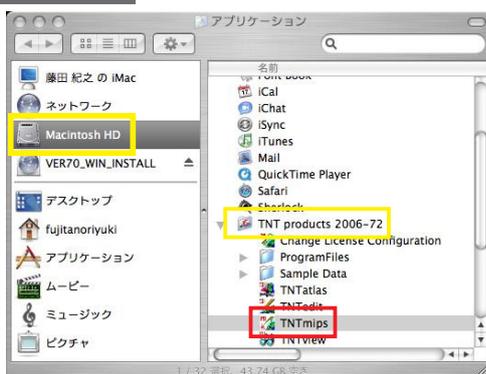
b. License Configuration の設定変更



▼ 「FlexLM Floating License」 に切り替え、ライセンスサーバの IP アドレスを入力します。

▼ 入力できましたら、[OK] ボタンをクリックしましょう。

c. TNTmips の起動



▼ 「Macintosh HD」 > 「アプリケーション」 > 「TNTproducts 2006-72」 > 「TNTmips」 を実行します。これで TNTmips がフローティングライセンスとして起動します。

FAQ よくある質問

インストールする必要があるの？

ありません。TNTmips の起動前にスタートメニューから「すべてのプログラム」>「MicroImages」>「TNTproducts 2007-72」>「Lisence Configuration」を選択して、「Free TNTlite License」に切り替え、[OK] ボタンを押すことで、mips から lite へ変更されます。mips へ戻す場合も同様です。

ライセンスサーバが動かない!!

クライアント側で“**No socket connection to license server manager.**”というエラーメッセージが現れることがあります。

まず、ライセンスサーバとして使っているコンピュータがネットワークに接続できているか、IP アドレスが変わっていないかの2点を確認してください。

問題がなければ、ライセンスサーバがダウンしてしまったのかもしれませんが、ライセンスサーバを再起動してください。

また、次のようなメッセージが出る場合もあるようです。

“**Floating license server is not authorized for version ○○**”

サーバを停止してから、**C:\Program Files\MicroImages\LicenseMgr** フォルダにある“**tntprod.lic**”ファイルを開き、書かれている内容を全て削除し、保存します。保存しましたらライセンスサーバを再起動してください。

それでも動かない場合は、ライセンスサーバをクリーンインストールしてください。

最新情報は

www.○pengis.co.jp

にて

随時提供しております

株式会社オープン GIS
〒130-0001 東京都墨田区吾妻橋 1-19-14



TEL (03)3623-2851
FAX (03)3623-3025
URL <http://www.opengis.co.jp/>
E-mail info@opengis.co.jp